



今ある緑を
未来に

6月は環境月間

住みよい地域を未来につなぐには、皆さんの一つ一つの行動が大切です。できることから始めてみませんか。

☎環境政策課 ☎225-2749

里地里山の保全活動

里地里山は、奥山と都市の間にある集落と農地・水路・草原などがある地域です。人の手が入ることで保たれる里地里山は、生活の変化や人口減少、高齢化などで利用が減り、その姿が失われ始めています。

活動に参加

市内では、稲作・畑作・下草刈り・間伐・自然観察などの活動をする団体が八つあります。加入の相談は環境政策課へ。

団体の活動内容の詳細はこちら



人の手が入らないと

- ・山林、農地、水路などの自然環境の荒廃
- ・生物の生息域の消滅と生物種の減少
- ・崖崩れや洪水被害の拡大など



食品ロスを削減

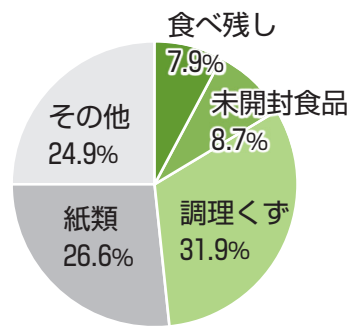
家庭系ごみには、食べ残しや未開封食品が15%以上含まれています。少しの工夫でごみは減らせます。

てまえどり

すぐ食べる時は陳列棚の手前にある商品を取り、廃棄される食材を減らしましょう。



家庭系もえるごみの割合 (2019~22年)



生ごみの減量に向けた「3つのキリ」を実践

◆使いキリ

- ・食材などは使い切れるだけ買う
- ・冷蔵庫の中身をチェックしてから買い物へ

◆食べキリ

- ・必要な量だけ作り、残さず食べる
- ・外食や宅配は食べきれないだけ頼む

◆水キリ

- ・野菜くずはできるだけ濡らさず、捨てる前に水をしっかり絞る

☎環境事業課 ☎225-2793

30周年 自然歳時記

●モンキチョウ● シロチョウ科

モンキチョウとキチョウは似ているが縁取りのある紋で見分ける。開いた羽は約50^{mm}。シロツメクサなどのマメ科植物に産卵し幼虫やさなぎで越冬する。雄は黄色く雌は白か黄。若宮公園で見つけた。 写真・文/吉田文雄



梅雨の晴れ間の青空に、美しいチョウが舞っているのを見かけた。実に優雅に楽しそうに飛んでいるが、目的は食料となる花や産卵のための食草、そして雄は雌を探すことだ。

シロツメクサのある芝生で休んでいると、羽の白いモンキチョウが飛んで来て葉に産卵して飛び去った。

するとすぐに雄のチョウが追いかけるように飛んで行った。これは求愛活動で見た目は楽しげに見えるが真剣そのものである。しばらくして産卵場所に行くとシロツメクサに1^{mm}ほどの卵が産み付けられていた。

人や鳥の憩いの場である若宮公園は昆虫たちの憩いの場でもある。

厚木市の人口
(5月1日現在)

🏠 世帯数

10万4434世帯 (前月比358世帯増)

👤 人口

22万4129人 (前月比314人増) 男11万5416人・女10万8713人